

令和8年度大学・高専機能強化支援事業

(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)「成長分野転換枠」＜継続分＞ 申請書

令和8年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	北海道情報大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	北海道
大学全体の総収容定員	1,720 名 ※令和7年5月1日時点		
学部学科 組織構成	総合情報学部（経営情報学科、システム情報学科）、医療情報学部（医療情報学科）、情報メディア学部（情報メディア学科）		
事業計画名	北海道情報大学総合情報学部情報理工学科設置計画		

2. 事業概要

本学は「情報化社会の新しい大学と学問の創造」を建学の理念として平成元年に開学し、社会のニーズに応える高度な情報技術人材の育成に取り組んできた。 現代社会は、AIやIoT、ビッグデータ、クラウドコンピューティングなど高度な情報技術の急速な進展により、人々の生活様式や働き方を根本的に変えるとともに、従来の社会課題の解決を加速させる一方で、情報格差や雇用不安、倫理的課題など新たな問題も生じている。さらに日本では少子高齢化や地域格差、医療・福祉の持続可能性といった課題が顕在化している。こうした状況を踏まえ、本学は最新技術を活用し社会課題に革新的な解決策をもたらす「情報イノベーター（情報の革新者）」の育成を強化するため、医療情報学部医療情報学科を廃止し、総合情報学部新たに「情報理工学科」を設置する。 新学科では、専門知識の修得にとどまらず、高度な情報技術がもたらす変革（DX）、地球環境との調和（グリーン・トランスフォーメーション：GX）、人々の健康増進（ヘルスケア・トランスフォーメーション：HX）を融合し推進する「情報イノベーター」を育成し、現代社会が抱える多様な課題に革新的な解決策をもたらし、持続可能な社会への貢献、さらに社会全体の「Well-being」の最大化に貢献することを目指す。
--

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和9年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	総合情報学部情報理工学科					
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	北海道江別市					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	80 名					
他学部等の入学定員の減少数	80 名					



事業計画名 北海道情報大学総合情報学部情報理工学科設置計画					
基本情報					
改組予定年度	令和9年度	設置等組織名	総合情報学部情報理工学科	入学定員増数(合計数)	80名
所在地	北海道工別市	改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）	入学定員減数(合計数)	80名

社会や地域のニーズ・課題

- ◆ **DX推進人材の「量」および「質」双方が不足**（独立行政法人情報処理推進機構「DX動向2025」）
- ◆ 3つのトランスフォーメーション（DX（デジタル・トランスフォーメーション）・GX（グリーン・トランスフォーメーション）・HX（ヘルスケア・トランスフォーメーション））を横断的に理解し、技術と社会課題を結びつけて新たな価値を創出できる人材が強く求められている
- ◆ 北海道では、「北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン（令和6年4月）」において、理工系人材の道内定着・活躍が重要な政策課題

連携を通じた教育体制の整備

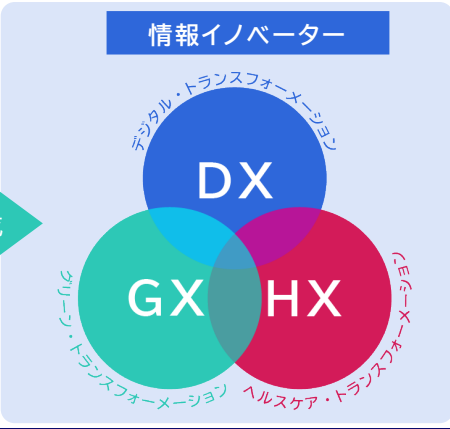
- ◆ 近隣大学や本学関連企業、地域産業界、自治体、海外協定校との広範な連携を通じ、実社会の課題解決に主体的に取り組む人材の育成を重視
- ◆ 企業講演者による最新技術動向の提供、実務講話、共同研究プロジェクトを通じた実践的教育の実施
- ◆ 地域企業・自治体と協働し、スマート農業、人口減少対策、医療・福祉のデジタル化（遠隔医療）等をテーマとしたPBL型科目を開講して北海道デジタルパークの展開に貢献
- ◆ 海外での課題解決型国際ワークショップを導入し、国際的視点からの実践力、課題解決力と国際性を養成
- ◆ 海外協定大学からの学生受入を通じ、国際的なキャンパス環境と高度な人材交流を推進

設置学部等の概要・コンセプト・特徴など

情報化社会が急速な変革を遂げ、DXが不可逆な潮流となる中、地球環境との調和(GX)や人々の健康増進(HX)といった、人類が直面する喫緊かつ根源的な課題への対応が求められている。情報科学、工学、そして経済学の知見を持ち、これらの社会課題に対し、単なる技術適用に留まらない、真に革新的な解決策を生み出す「**情報イノベーター（情報の革新者）**」を育成。これにより、持続可能な社会の実現と、社会全体のWell-beingの最大化に寄与することを目指す。

教育内容・育成する人材像

情報科学、数理・データサイエンス・AIの高度な技術を深く理解し、DXを強力に推進できる人材を育成する。また、GXやHXの実践を通してデータ分析力を駆使し、社会課題を解決して新たな価値を創造する応用力を身に付けさせる。さらに、国際社会と協調しながら革新的な技術やビジネスモデルを開発・社会実装できる起業家精神を育み、高度情報社会における倫理観と責任感を持ち、情報技術を通して社会に貢献する意識と行動力を備えた人材を養成する。



興味・関心に合わせて自由に研究できる

社会課題に特化したカリキュラムを通じ、最先端の知識と技術を実践的に修得



多様な入学者の確保

- ◆ 女子学生の確保（女性エンジニア育成に強い大学）
 - ・オープンキャンパスで女子参加者向けプログラムを実施
 - ・女子在学生による研究やプロジェクト活動紹介
 - ・IT業界で活躍するOGの事例紹介
 - ・本学女性教員のアウトリーチ活動強化・研究紹介
- ◆ 初等中等教育段階の学校との連携
 - ・道内の高校を中心に探究学習の支援
 - ・高校生に対する模擬講義の実施

情報イノベーターを育てる学びのステップ

1年次に情報系国家資格取得に対応できる基礎力を身に付けるとともに、3年次から以下の5つの研究室所属による応用研究に備える。

- ◆ ジョインフォマティクス研究室
- ◆ 環境情報・シミュレーション研究室
- ◆ 画像AI研究室
- ◆ バイオエンジニアリング研究室
- ◆ デジタルヘルス研究室

